

盆栽や鉢植えで大切なこと

くにも二にも水遣りく

盆栽サークル 細淵謙蔵

盆栽や鉢植えでの手入れで一番大切なことは水遣りです。

排水を良くして、鉢の表面が乾いたら、鉢底から水が流れ出るまで、水を十分に与えてやることが重要です。

肥料不足などでは、生育がいくぶん遅れるとか、葉の色が悪くなるとか、それくらいですみますが、水不足では枯れ死することがあります。ただ、頭から水をかけただけでは、鉢土（根元）へかかる水はごく些細で、湿したぐらいにしかありません。乾いたらたっぷり水をやるのが重要です。



細淵謙蔵氏
(園芸研究家、福生さつき愛好会会長)
松林分館ロビーに、毎週盆栽を飾ってくださっています。

1 上手な水の与え方

まず、根元にきつと水をかけ、土を濡らしてからもう一度たっぷり水を与え、鉢底から水が流れ出るまで与えることが重要です。

2 鉢土面に水がたまるようであれば植替え

鉢土面に水がいつまでもたまったり、浸み込まずに鉢の縁から外へ流れ出たりするようでは、鉢土が固まっている証拠です。植替えが必要です。

3 鉢穴塞ぎは根腐れの原因

鉢底の排水穴が石やガラス等でふさいでしまうと、鉢に水がたまり、根腐れを起こす原因となります。鉢底網を使って水はけをよくすることが大切です。

4 バケツや受け皿にドブ付けは禁物

バケツや受け皿に浸したままでは、鉢土が水の飽和状態になり、根が窒息します。鉢土内が水浸しになっていると有害なバクテリアが繁殖して根腐れを進行させます。



松林の庭にも、四季折々の花が咲いています。ぜひご覧ください。

発行・編集 公民館松林分館

所在地 武蔵野台一丁目15番地1

電話 042・552・3624

